

コラム 長野県植物研究会誌 投稿原稿のひな形例

井浦 和子 *

はじめに

長野県植物研究会誌は、会員の中の編集委員で編集を行っています。近年、会員の活動も活発になり、投稿数が増えてきていて、編集作業も膨大になってきています。投稿規定は策定されていますが、実際とは合わないところも多くあります。また、より多くの会員に投稿していただきたいですが、フィールドで発見があっても文章にして投稿するのは難しいと思われる会員もいるのではないのでしょうか。

そこで、投稿原稿のひな形例をあげることで、投稿しやすくなることと、編集作業が軽減されることを目的として、このコラムを作ってみました。

ここであげるのは、一例であって、こうしなければいけないというものではありません。また、編集作業の改善点もご指摘いただければ幸いです。

投稿から印刷までの流れ

現在一般的な電子メールでの投稿から印刷までの流れを説明します。手書き原稿や、郵送での入稿も受け付けています。

原稿作成 本文

本文はワードで作成するか、それ以外のソフトの場合は、テキストファイル(.txt)にして投稿します。ワードの原稿は基本的には、図表を入れない本文のみです。ワード原稿の例を図1に示します。

タイトル等は中央揃えにする必要はありません。スペースを使って体裁を整えると編集の時にきれいに揃わない原因になります。

見出しに数字を使う時は、ワードの自動機能を使わず、タイピングしてもらえると助かります。編集ソフトで原稿を配置したとき、ワードの自動機能が表示されません。段落ははじめの1マスあけるのも同じで、タイピングすると良いです。

原稿では学名をイタリック体にする必要もありません。使用したフォントによっては読み込めなかつ

たり、文字化けする場合があります。本文原稿とは別にイタリック体にする文字を指定します。

著者の所属や連絡先は最初にまとめます。1ページ目の下に入れる必要はありません。個人情報保護の観点から研究会誌に載せる住所は市町村までですが、代表者は郵便が届く住所をお願いします。仮刷りを郵送します。また、読者から問い合わせができるように、代表者のメールアドレスを研究会誌に掲載して良いようであれば記入します。メールアドレスがない場合は、郵便が届く住所を掲載します。博物館等に所属の方は、所属先と所属先の住所です。

キャプションは、最後にまとめて記入します。

原稿の書式は以下のようにします。

- ・「である」調。
- ・和文は全角で「、」「。」。英文、引用文献は半角「,」「.」。
- ・数字は基本的に半角。
- ・囲い文字や特殊な記号(①、★等)はできるだけ使わないでください。文字化けや読み込めないことがあります。

引用文献の不備が目立ちます。以下に例をあげますので、参考にしてください。引用した文献のみをあげて、著者の頭文字のABC順にならべます。

・引用文献例

林将之(2014)山溪ハンディ図鑑14 樹木の葉. 山と溪谷社.

井浦和子(2008)長野県高山村におけるカイサカネランの新産地. 長野県植物研究会誌 41:47-48.

大塚孝一(1997)チャセンシダ科. 清水建美監修「長野県植物誌」pp.195-201. 信濃毎日新聞社. 長野.

米倉浩司・梶田忠(2007-)「植物和名一学名インデックス YList」(YList), <http://ylist.info> (2023年1月8日確認).

原稿作成 図表

図表は、図表それぞれを画像(.jpg)かPDF(.pdf)で投稿します。図表原稿の例を図2に示します。ワードに貼り付けると画質が下がる場合があり、画質を下げないファイルを送ってもらった方が、きれいに仕上がります。写真は編集でトリミングする場合があります。仮刷りで確認してください。

* 長野県植物研究会誌編集委員 井浦和子 長野県上高井郡高山村 iurk@stynet.home.ne.jp

エクセルファイルでも受け付けますが、編集ではいったん PDF にして編集ソフトに貼り付けるので、PDF の提出のほうが編集作業が省けます。しかし、その場合は数値等の修正は出来なくなります。文字のフォントも入稿されたものになります。

PDF は、各ソフトで「PDF で書き出し」か、印刷でプリンターを PDF に指定することで作成できます。手書きの図などは、スキャナーで読み込んで PDF にできます。スキャナーがないときはコンビニのマルチコピー機でもできます。

画像のファイルとして PNG もありますが、今のところ編集ソフトと相性が悪いようで、きれいに印刷されませんでした。

原稿作成 編集の指定

学名のイタリック体指定や、図表の位置など編集の指定は、本文のワードファイルとは別に、PDF ファイルなどがあると分かりやすいです。ワードファイルを打ち出して、手書きで記入したものでも構いません。編集の指定例を図 3 に示します。

学名のイタリック体にする文字を赤字か赤下線にします。手作業でフォントを変換していくため、赤い表示で見落としをなくします。

図表の入る位置が分かるよう、図表番号を赤字にするか、図表を挿入します。図表の大きさの希望がある場合など、ワードに図表を貼り付けてイメージを作ってもらっても良いです。基本的には図表の説明の本文と図表ができるだけ見開きに入るように編集しますが、スペースによってはできない場合があります。

カラー印刷にする場合、図表それぞれにカラー指定をします。カラー指定がない場合は、白黒になります。カラーの写真はカラー印刷代の関係から、1 ページにまとめることがあります。

入稿

1 月末までに、信州大学教育学部森林生態学研究室の長野県植物研究会編集委員会に提出します。メールアドレスは、pida@shinshu-u.ac.jp。

図表を別ファイルにすると、ファイル数が多くなります。フォルダーにまとめて、圧縮ソフトで ZIP ファイルに圧縮すると、1 つのファイルとして扱えます。画像などがあると、それでも大容量のファイルとなるので、「データ便」など無料大容量ファイル転送サービスを使うと送信しやすいです。

電子メールでの投稿を受け付けたら、編集委員長

から、受け付けた旨の返信を送ります。

編集

編集作業は、インデザインという編集ソフトで行います。文章やページ数が多い雑誌等を編集するソフトです。多くの専門雑誌もインデザインで編集されているのではないかと思います。ページレイアウトや、段落・文字スタイルの設定が容易です。

インデザインで植物研究会誌のページレイアウトを決めておき、入稿された原稿（ワードファイル）を流し込みます。学名のフォント等を整えていき、図表を貼り付けます。

この長野県植物研究会誌では次のフォントを使用しています。本文は編集で整えていきますが、図表作成の参考にしてください。

- ・本文：小塚明朝 Pr6N R
- ・見出し：小塚ゴシック Pr6N R
- ・学名イタリック体：Times New Roman Italic

1 稿につき 1 つのインデザインファイルを作成し、ファイルをまとめて Book という形式にします。ページは Book を通して自動で振られるので、校正の時にページが増減しても大丈夫です。

一通り編集作業が終わったら、編集委員の自宅のインクジェットプリンターで仮刷りします。

校閲

仮刷りを校閲者に見てもらい、修正が必要な箇所等のコメントが入ります。

著者校正

校閲のコメントが入った仮刷りを著者へ郵送します。修正箇所を記入して、編集担当者まで送り返します。修正箇所がない場合もその旨が分かるようご連絡ください。大きな修正や図表の修正がある場合は、データを再提出してもらう場合があります。郵送でなくても、修正箇所を記入したものをスキャニングして PDF ファイルで送っても構いません。PDF のコメント機能で修正箇所を記入したものは編集作業がやりにくいです。

別刷りの希望部数やカラーの有無を必ず明記します。

印刷所への入稿

著者からの修正箇所の指示に従って修正し、印刷用ファイルを印刷所へ送ります。印刷所の仮刷りを編集担当者がチェックして、本刷りとなります。

○ファイル名：56 号投稿井浦本文 .docx

長野県高山村におけるカイサカネランの新産地

井浦 和子

New locality of *Neottia japonica* (M.Furuse) K.Inoue in Takayama Village, Nagano Prefecture

Iura Kazuko

井浦和子 〒382-0831 長野県上高井郡高山村高井 0000 iurk@stvnnet.home.ne.jp

1. はじめに

長野県高山村におけるカイサカネランの新産地（井浦 2008）をもとに原稿のひな形例をあげる。原文から編集している。

カイサカネラン *Neottia japonica* (M.Furuse) K. Inoue は、これまで山梨県・長野県（今井・井上 1998；今井 1999）等で 10 産地が報告されている。

報告者の井浦は、2007 年 9 月 13 日に高山村の山中にて、見なれない植物を見つけた。3 花茎を出している株と 1 花茎のみを出している株が 2 m ほど離れて生育しており、開花中であつた（写真 1）。

サカネラン *Neottia nidus-avis* (L.) Rich. var. *mandshurica* Kom. と本種の区別点を表 1 に示す。

引用文献

今井建樹（1999）長野県の植物覚書．長野県植物研究会誌 32: 43-46.

今井建樹・井上健（1998）カイサカネラン再発見される．植物分類，地理 49: 197-199.

井浦和子（2008）長野県高山村におけるカイサカネランの新産地．長野県植物研究会誌 41: 47-48.

キャプション

写真 1 高山村でみつかったカイサカネラン（2007 年 9 月 13 日 井浦和子撮影）

表 1 カイサカネランとサカネランの区別点

図 1 ワードの原稿の例

○ファイル名：56 号投稿井浦写真 1.jpg



○ファイル名：56 号投稿井浦表 1.pdf

表1 カイサカネランとサカネランの区別点

種名	カイサカネラン	サカネラン
花被片と比べた唇弁の長さ	やや長い程度	明らかに長い
花期	8～9月	5～6月

図 2 図表原稿例

○ファイル名：56 号投稿井浦編集の指定 .pdf

長野県高山村におけるカイサカネランの新産地

井浦 和子

New locality of Neottia japonica (M.Furuse) K.Inoue in Takayama Village, Nagano Prefecture

Iura Kazuko

井浦和子 〒382-0831 長野県上高井郡高山村高井 0000 iurk@stvnnet.home.ne.jp

1. はじめに

長野県高山村におけるカイサカネランの新産地（井浦 2008）をもとに原稿のひな形例をあげる。原文から編集している。

カイサカネラン Neottia japonica (M.Furuse) K. Inoue は、これまで山梨県・長野県（今井・井上 1998；今井 1999）等で 10 産地が報告されている。

報告者の井浦は、2007 年 9 月 13 日に高山村の山中にて、見なれない植物を見つけた。3 花茎を出している株と 1 花茎のみを出している株が 2 m ほど離れて生育しており、開花中であつた（写真 1）。—カラー—

サカネラン Neottia nidus-avis (L.) Rich. var. mandshurica Kom. と本種の区別点を表 1 に示す。

引用文献

今井建樹（1999）長野県の植物覚書。長野県植物研究会誌 32: 43-46.

今井建樹・井上健（1998）カイサカネラン再発見される。植物分類, 地理 49: 197-199.

井浦和子（2008）長野県高山村におけるカイサカネランの新産地。長野県植物研究会誌 41: 47-48.

キャプション

写真 1 高山村でみつかったカイサカネラン（2007 年 9 月 13 日 井浦和子撮影）

表 1 カイサカネランとサカネランの区別点

図 3 編集の指定例

著者負担料金

・手書きの入力 1 ページ 2,000 円

仕上がりページに換算して 1 ページ単位

2023 年現在の著者負担料金の目安は次のようになります。

- ・カラー 1 枚 10,000 円程度（表裏の 1 枚単位）
掲載号の総カラーページ数で変わります。
- ・別刷り 50 部 10 ページで 10,000 円程度
カラー別途、ページ数で変わります。
- ・超過ページ 1 枚 4,000 円程度（表裏の 1 枚単位）
1 稿 13 ページ以上から

手書き入力は編集担当者から、超過ページは会計から、その他は印刷が終わって印刷所から直接著者に請求がいきます。別刷りも印刷所から著者に直接送付されます。

おわりに

このコラムの草稿を井田秀行編集委員長および大塚孝一氏に見て頂いて作成しました。